



令和8年 謹賀新年

今年もよろしくお願ひいたします



みなとまち新潟が誇る伝統文化「新潟古町芸妓」の皆様

CONTENTS

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 2 廣田会頭 年頭所感 | 9 特集2 当所役員・議員等からの新春寄稿 |
| 3 花角県知事、中原市長 新年のご挨拶 | 11 特集3 “当たり年” 午年の皆様からの年頭寄稿 |
| 4 日商小林会頭 年頭所感 | 12 新年紙上名刺交換 |
| 6 特集1 部会長・委員長 年頭所感 | 16 インフォメーション |

社内、各部署でご覧ください。





地域経済の更なる飛躍を目指し

会頭 廣田 幹人

私は令和7年11月より、新潟商工会議所の第22代会頭に就任いたしました。先人の教えを受け継ぎ、新潟の経済社会の発展に向け粉骨碎身、尽力してまいる所存であります。皆様方より倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。

令和8年は新潟商工会議所創立130周年という節目の年に当たります。近年、世界情勢は大きな変革期にあり、それに伴い、企業経営を取り巻く環境も刻々と変化しております。

そのような状況下において、私は多種多様な業種、業態の会員で構成される商工会議所を、「鳥の目」「虫の目」「魚の目」という様々な視点から、その時々の最適解を模索して運営にあたる所存であります。

当面の課題は、継続している「物価高騰」と「人手不足」です。政府は生活者並びに事業者を支援する経済対策を打ち出し、年度内には具体化が見込まれています。防衛的賃上げに努力している中小企業、小規模事業者が賃上げ原資を確保していくためには、適正な価格転嫁の実現と省力化投資などを通じた生産性向上が必要であります。

当所では、中小企業省力化投資補助金の活用支援を強化するとともに、AIの活用を含む研修・セミナーを充実させ、中小企業、小企業事業者の経営力の向上を後押ししてまいります。加えて、地域外の需要の取り込みに向け、販路拡大のためのマーケティング強化や海外市場へ挑戦する企業の支援に一層力を入れてまいります。

地域経済の活性化には、観光振興が重要であり、新潟独自の「湊町文化」、「古町芸妓」や「料亭文化」を象徴的資源として、SNS等で国内外的に確に情報発信し、来街者による域内消費の拡大を

目指してまいります。

「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録から1年半が経ちました。世界遺産への登録が徐々に海外へも知れ渡り、その効果が長期的に継続していくものと期待しております。佐渡への玄関口である新潟市の多様な魅力をより多くの方々に知って、味わい、体験していただける仕掛け作りにも取り組んでまいります。その試金石となるのが、本年6月に新潟市で開催される「国際青年会議所JCIアジア太平洋会議2026(通称: ASPAC(アスパック))」(新潟青年会議所主管)であります。約8,000人の青年経済人が集い、そのうち3,000人は海外から来訪予定と聞いています。一般の観光を上回る経済効果が期待されており、地域経済の活性化に大いに寄与してくれると見込まれるため、当所としても同会議の成功に向け、関連事業も含め協力してまいります。

東京一極集中の是正は容易ではありませんが、若者が地元に愛着を深め、新潟の良さを知ることで新潟の発展に参画していくという好循環が生まれ地域全体の活力が底上げされていくよう、企業の雇用環境改善や雇用誘引の取組を行政と協力して促してまいります。

商工会議所の組織強化の為、43年振りに会費基準を改訂させていただきました。会員の皆様方にご負担をおかけいたしましたことを大変心苦しく思っておりますが、地域経済の活性化を継続していくためのサービス向上と効率的運営を推進してまいりますのでご理解を賜り、引き続きご協力いただきますよう伏してお願い申し上げます。結びに、本年が皆様方にとって、幸多き、実り多き一年となります事を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

花角新潟県知事、中原新潟市長 新年のご挨拶 (敬称略)

新春のごあいさつ

新潟県知事 花角 英世



令和8年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

平成30年6月に知事に就

任して以来、県民の皆様の安全と安心を確保することを第一に、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現を目指し、県政運営に取り組んでいます。

本県では、急速に進む少子化等を背景とした人口減少問題や激甚化・頻発化する自然災害など様々な課題を抱えており、オール新潟で取り組んでいかなければならないと考えています。将来的な人口定常化を目指し、若者にとって魅力ある働く場所、新しいことに挑戦できる場所、こどもを生み育てやすい場所、そして、多くの方々が魅力

を感じて訪れる場所として新潟県が「選ばれる」よう、公民一体となった取組を進めてまいります。

また、本県経済の活性化に向けては、県内企業が直面する物価高や人手不足などの課題に対応するため、国の総合経済対策も最大限活用しながら、新事業展開・新市場開拓など県内企業の稼ぐ力の強化につながる取組や、生産性向上や価格転嫁の促進など経営基盤の強化を促す取組を後押ししてまいります。

さらに、交流人口の拡大に向けては、昨年とりまとめた観光のブランドコンセプト「大地と雪の恩恵 本当の豊かさは、新潟（ここ）にある。」を本県の様々な観光資源と関連付けて発信、浸透を図り、国内外からの誘客促進につなげてまいります。

こうした取組が新潟県の活力につながることを願うとともに、県といたしましても、県民の皆様とともに飛躍できる1年となるよう、全力で取り組んでまいります。

皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

新潟市長 中原 八一



謹んで新年のお慶びを申し上げます。会員の皆様におかれましては新春をお健やかにお迎えのことと存じます。

貴会議所におかれましては、廣田新会頭がご就任され、新体制をスタートされました。廣田会頭を筆頭に、貴会議所が地域経済の牽引役として、一層ご活躍されますことをご期待申し上げます。

さて、一昨年の元日に発生した能登半島地震から二年が経過しました。本市では、被災された市民の皆様の声に引き続き丁寧に寄り添い、復旧・復興を着実に進めるとともに、今後の災害に備えた安心・安全なまちづくりに取り組んでいきます。

また、本市は新潟駅から古町をつなぐ都心エリ

ア「にいがた2km」を中心に、まちづくりの大きな転換期を迎えております。新潟駅万代広場整備は大詰めを迎えており、今年はペデストリアンデッキやタクシープールなど、利用者の利便性が向上する施設から、段階的な供用を予定しています。今後も「にいがた2km」の取り組みを軸に、市域全体の経済活力を高め、地域の外から投資や消費を呼び込むとともに、物価高や人手不足など、市内企業が直面する課題に対し、国や県と連携し、適時適切な対策を進めてまいります。

ひのえうま
今年の干支は丙午であり、「強い熱意や情熱が形になる年」とされています。積み上げてきた取り組みが形となり、一層の飛躍と活力の向上につなげることで、「選ばれる都市 新潟市」を目指してまいりますので、本年も引き続き、貴会議所ならびに会員の皆様からお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会議所のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念して、新年のあいさつといたします。